

# 特養美土里荘増床!

# はんの木だより



(上)新棟を屋上から (下)新棟外観

向って左が新棟、右が管理棟(旧棟)



新型の洗濯乾燥機を備えたりネン室



新入所者をお出迎え



明るいスタッフルームとお祝いの花



広々とした食堂

2015 年  
第 57 号

社会福祉法人美土里会

青森県上北郡七戸町寒水 70-17

電話 0176 (62) 2761



最新の特種浴槽で安心

美土里会の長年の悲願成就一。平成二十七年三月二十六日、特別養護老人ホーム美土里荘の増床部分がオープンしました。前回お伝えした通り、特養部分が二十床、ショートステイ部分が十一床増え、合計で八十三床に拡大されました。今回は新しく整備され、生まれ変わった美土里荘をご紹介します。

### ●広々とした明るい廊下



新築部分の床は優しい水色、壁はややクリーム色がかった白、床や居室入口との境目は古民家を思わせる濃い茶色をしており、ご利用者に安心感を与え、とともにコントラストを明確にする事で視覚的に分かり易い造りになっています。また廊下幅は三メートルと余裕があり、車椅子同士も楽々すれ違

うことが出来ます。

### ●プライベートを確保した居室



居室は二人部屋ですがコの字型になっており、間がカーテンで仕切られています。また出入口も二か所に設けているため、カーテンを閉めれば個室のようになり、お互いのプライバシーも保たれます。もちろん、ご夫婦や仲の良い方同士、仕切りのカーテンを開けて一緒に過ごすせます。タンス・床頭台は用意していますが、ご自宅の使い慣れた家具をお持ち頂くことも可能です。広い窓からは外の明かりが充分差し込み、落ち着いた雰囲気の中、ご自分のペースで過ごして頂けます。

その他、開放感のある食堂兼多目的ホールでは、食事をしたり談話をしたりと思いに過ごして頂けます。また浴室では一人用の浴槽の他、最新の特殊浴槽を配備。横になったまま職員の介助を受け、ゆっくり入浴して頂けます。

三月二十六日よりご利用者が入所され、すでに特養部分は満床になりました。入所や見学の申し込み、ショートステイ利用申し込みは随時受け付けておりますので、お気軽

に美土里荘(電話・〇一七六・六二一・二七六一)へお問い合わせ下さい。これからも美土里会は、地域のニーズに合わせてサービスを提供して行きます。

### インタビュー

美土里荘に入所されていかがでしたか? 新たに入所された二名の方にインタビューしてみました!



山本太郎 様  
(三月二十六日入所)

家にいる時は一人でいる事が多かったから、こうして皆と話しをして笑っているのは幸せだと思おう。また、好きな物ばかり食べたりと贅沢な生活を送っていたけれど、ここに来て健康的な生活を送れている。贅沢をすればきりがないので我慢も必要だ。すべてにおいて百点満点だ!



蛸名玲子 様  
(三月二十六日入所)

自分の家にいるみたいに安心して生活している。家族の事は案じるけど、家に帰りたいとは思わない(笑)。職員に歩く練習をしましょうと言われた時は、家に帰されるのかと思って心配したが、「大丈夫、帰らせないよ」と言ってくれたので安心して練習している。これからも自分で楽しみを見つけて生活していきたいと思っています。



山本様と、2年前から特養に入所していた奥様と感動の再会。今までほとんど面会できませんでした。これからは一つ屋根の下仲良く過ごしてください!



# 事業所通信

## 在宅介護支援センター機



真剣に耳を傾ける皆さん

三月四日、七戸町委託事業である家族介護者教室を開催しました。テーマは「排泄とスキンケア」という事で、花王の小松妙子氏とサクラメディックの工藤京子氏を講師に迎え、紙おむつや失禁用ライナーの商品説明や、足浴やミルクローションを使用したスキンケア体験をしました。肌トラブルを予防するには、尿量に合わせたライナーや紙おむつを使用すること。スキンケアは、ただ乾燥やかゆみを予防するだけでなく、乾燥による細菌感染を最小限にとどめることができること等を学びました。

講話の後は、美土里荘栄養士が調理した「高齢者向けの食事」をみんなで堪能し、日頃の介護に関しての悩み等を相談したり、意見交換しました。



実演も行われました



鶏飯風スープかけご飯  
切り干し大根と大豆の酢の物  
ミルク甘酒  
桜餅

## グループホーム機

グループホームでは毎月手作りおやつを行っています。今回はお好み焼きを作りました。生地作りから混ぜ込み、焼き始めから焼き上がりまでと全ての工程をみんなで手分けして行いました。皆さん昔を思い出し、わいわい話をしながらも、とても手際が良く、あっという間に完成しました。その後は、みんなで出来立てを頂きました。



普段あまり食べない方もペロッと平らげていました。利用者からは、『すごくおいしい』『また作りたい』との声がたくさん聞かれました。自分たちで作ったおやつは、また格別においしいと思いますのでこれからも毎月行っていききたいと思います。

# 26 年度を振り返る

## 自立支援と地域交流重視

平成二十六年度は、本当に色々なことがありました。特養美土里荘では、全国老協協が主催する介護力向上講習会へ参加して科学的介護の考え方を学び、引き続き自立支援（自分で出来ることを増やすこと）への取り組みを強化しました。特に水分や食事の量や質、適度な運動、排泄（トイレ・おむつ）のケアを大切にし、一日の水分量をチェックしたり、今まで以上にレクリエーションや運動の時間を作るなど、目的を持って体を動かす時間を増やしています。これからも「どうすればご利用者の皆さんが元気になるか」「やれる事が増えるか」を考えて、各事業所で出来るところから取り組んで行き、サービスの向上に努めたいと思います。



## 科学的介護 レク・運動



さらに今年度は、地域とのふれあいや、地域交流にも力を入れた一年でした。美土里荘フェスティバルは、天気の影響もあり屋内開催となりましたが、多くのご利用者・地域の皆様にお越し頂き、大好評でした。グループホームでは敬老会を開催し、全利用者で職員で長寿をお祝いしました。同じくデイサービスセンターでは演芸会『梓の会』を開催、全ての利用日の方々が一堂に会し、職員の出し物を見たり、歌や踊りを披露したりし大いに盛り上がりました。どちらの行事もご家族にも参加していただき、交流を図りました。

またデイサービスセンターでは、八のつく日（八日・十八日・



## 交流事業・行事



## 編集後記

二十六年度は、増床という大きな事業がありました。今年度もたくさんの『楽しい思い出』をお伝えできるように頑張ります。（松）



ありがとうございます！

## 青森ヤクルト販売 株式会社様より

## 車椅子寄贈

一月三十日、青森ヤクルト販売株式会社のエリアマネージャー山田卓也さんと八戸営業所長の千葉広光さんが来荘し、ピカピカの車椅子を一台寄贈して頂きました。ヤクルトは今年八十周年を迎え、創設当初より地域に根差した事業展開をされています。「社会貢献



## 地域交流・地域貢献事業

二十八日に、七戸町内のイベント広場で行われている市日への買い物外出を始めました。不定期の開催でしたが、「初めて来た」「久しぶりに来た」と話したり、知人に会って談笑したりと、楽しまれた様子が見られました。またショッピング行事で「まける日」に出かけるなど、例年以上に地域交流を行った年となりました。

平成二十七年度は、四月から介護報酬が改定され、ますます厳しい事業運営が予想されます。しかし、やはり地域あつての社会福祉法人美土里会であることを忘れず、これからもご利用者第一のサービス提供を心がけるとともに、地域交流・地域貢献、社会貢献を重視して行きたいと思えます。今後とも宜しくお願い致します。